

基 本 事 項	事務事業名	工事検査事業			所管部署名	工事検査課検査係				
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	前田 智
	基本 の 計 画 係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			根拠法令等	地方自治法			
		まちづくりの目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	実施 計画 の 位置 付け	施策の展開				直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
		個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	総務費	総務管理費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接対象)市の発注する工事 (最終的な対象)全市民			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	目 細目	工事検査費	工事検査事業	
		対象年齢	00	99	全年齢			市が発注する公共工事で、金額が130万円を超えるものについて、中間検査、既成部分検査及び完成検査を行う。		
意図 (対象にどのような状態 になってほしいのか)		設計図書等に定められた出来形及び品質等が確保できていることを工事検査により確認することで、市民が安心して施設を利用できる。								
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス				<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 90110101 完成検査	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9011 01 工事検査事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 事業費	18	10	12	10	0	16	16	
	② 人件費	7,120	7,063	7,326	7,046	△ 17	7,046	7,046	
		正職員投入人員	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	0.00人	0.94人	0.94人
		正職員人件費	7,120	7,063	7,326	7,046	△ 17	7,046	7,046
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間 接 経 費 (加算)					0				
④ コスト対象外 (除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	7,137	7,073	7,338	7,056	△ 17	7,062	7,062		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市 債					0			
⑨ そ の 他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	7,137	7,073	7,338	7,056	△ 17	7,062	7,062		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)		単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	市が発注する工事件数(契約金額130万円超の工事)		件	105	105	105	105	105
		令和2年度、令和3年度の件数は契約金額100万円超の工事			70	77	85		
活 動 指 標	②	全市民		人	74,771	73,514	73,756	74,372	74,912
		住民基本台帳人口			73,217	73,043	72,872		
成 果 指 標	①	年間検査件数		件	130	130	130	130	130
		完成検査+中間検査+既成部分検査+再検査の総件数			103	108	114		
成 果 指 標	②	査察の実施件数		件	15	15	15	15	15
		実施件数			15	15	15		
成 果 指 標	①	工期内完成検査実施率		%	98	98	98	98	98
		工期内完成検査実施件数/完成検査実施件数			97	99	100		
成 果 指 標	②	検査執行率		%	120	120	120	120	120
		検査総件数/検査対象件数			147	140	134		

評価年度の主な取組	1 年度別工事検査件数					
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	完成検査	103	96	70	77(7)	85
	中間検査	32	86	32	23	29
	既成部分検査	2	1	1	1	0
	計	137	183	103	101(7)	114
	※( )内は再検査を示す。					
	2 年度別工事検査金額(単位:千円)					
	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	検査対象金額	2,123,497	6,499,030	1,983,595	3,592,512	5,644,929

事業性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)		
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	市に引き渡される完成品が、品質基準を満たし、市民等が安全に使用できることを検査により確認することは妥当である。		
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	工事検査業務は、地方自治法第234条の2第1項の規定により、公共工事の完成引渡しの際における工事完成検査が義務付けられており、市が工事検査義務を負うことは妥当である。また、検査は公共工事を前提としており、工事発注課における設計及び施工監理に対し、工事請負者における施工及び提出書類が相違ないか、第三者として確認することは妥当である。			
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	② 査察の実施件数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
		成果指標	102.04%, ★★★★★ 達成された	① 工期内完成検査実施率 (増加目標指標)	98.98%, ★★★★★ 概ね達成された	101.02%, ★★★★★ 達成された	
評価性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	工事検査業務を通じて、工事に携わる工事発注課及び工事請負者等の工事担当者に対し、品質管理の重要性や工事の遅延による市民サービスへの影響を意識させることで、成果の向上が図られる。			
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし				
効率性	単当たりコスト変動率	令和4年度	令和2年度	令和3年度	変動率		
		94.51% 若干減少している 61,896.84 円	年間検査件数 活動指標を単位として換算 単位:円/件 69,294.43 円	174.12% 増加している 65,492.22 円	94.51% 若干減少している		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	工事検査業務の経費は、人件費が主なものであり、コスト改善の余地はない。工事検査業務に、受益者負担はない。			
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし				

改革改善	これまでの改革・改善内容	工事発注課の職員を対象とした監督員会議の他、査察及び中間検査等を通じて、工事担当職員や工事請負者に書類提出を含めた工事完成検査までの工程管理の徹底を促した。また、工事主管課長に対し、適正工期の設定と工事検査書類の提出期限の厳守を促した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<b>リスク(マイナス要素)</b> 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内による工事が増えており、関連工事や施工場所の重複に伴う工期の延伸が増えるなど、適正な工期の設定が困難となっている。	<b>機会(プラス要素)</b> 土地区画整理事業地内は、工事の影響が市民サービスの低下に繋がることが少ない。また、企業努力などによる通路の安全確保や美化作業などにより、工事中における市民サービスの向上が図られている。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	監督員会議の他、査察及び中間検査等の機会に工期内検査の実施を求め、更なる成果に繋げる。また、工事検査を通じて、工事により得られる市民満足度や市民サービスへの影響を意識させ、継続的に品質の向上に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	前田 智	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明	一次評価責任者と二次評価責任者が同一のため、評価が同じになる。			
	二次評価日	令和5年5月31日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 会計課出納審査係, 事業期間, 事前評価日, 事前評価責任者, 根本法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 実施計画の位置付け, 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連, 個別計画の位置付け, 目的, 類似事業, 前年度事務事業, 手 段 (どのような事業を行うのか)

Table with 10 columns: 区分, 区 分, 令和2年度 決算(千円), 令和3年度 決算(千円), 令和4年度 予算(千円), 令和4年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和5年度 当初(千円), 令和6年度 計画(千円). Rows include A (事業費), B (特定財源), C (吉川市年間負担経費), D (補助・単独区分).

Table with 10 columns: 目 標 設 定 実 績, 区分, 指 標 名 (上段), 単 位, 令和2年度 目標(見込)値, 令和3年度 目標(見込)値, 令和4年度 目標(見込)値, 令和5年度 計画(見込)値, 令和6年度 計画(見込)値. Rows include ① 令和4年度 一般会計・特別会計の予算額, ② 令和4年度 歳入・歳出伝票処理件数, ③ 事前検査指摘件数の割合.

評価年度の主な取組	<p>各課室局等から提出された支出命令書等を審査し、債権者に対して適正かつ速やかな支払いを行った。</p> <p>主な支払方法は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期の口座振込：月3回</li> <li>・随時のEB払い：適宜</li> <li>・納付書払い：納付期限毎</li> <li>・窓口払い：適宜</li> </ul> <p>市の銀行口座に入金された公金を歳入調定通知書に基づき財務会計システムへの消込(入力)処理を行った。</p>
-----------	---

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市の公金管理は地方自治法及び市会計規則等に基づき実施している事務であり、対象・手段・意図は妥当である。引き続き正確な審査を実施するとともに、迅速な出納業務を行う必要がある。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	101.82% ★★★★★ 達成された	① 令和4年度 歳入・歳出伝票処理件数 (増加目標指標)	98.37% ★★★★ 概ね達成された	100.37% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	達成された	① 事前検査指摘件数の割合 (ゼロ値目標指標)	達成された	達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	正確な審査を行い、例月検査における事前審査でも指摘事項を減少させることで、事務の効率化を図ることができる。				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		98.34% 若干減少している 1,014.02 円	令和4年度 歳入・歳出伝票処理件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	104.16% 若干増加している 1,082.59 円	95.24% 若干減少している 1,031.10 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経費の大部分を人件費が占めており、事業費に係るコスト改善の余地はなく、また公金を扱う公共的事业であり、受益者負担の概念はない。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	財務会計システムを導入し、事務の効率化を図った。 口座振込払いにおいて、債権者の預金通帳に「ヨシカワ ○○カ」と表示されるコメントサービスを導入することで、債権者に対する送金通知を廃止した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 伝票件数の増加により会計事務負担の増加も考えられる。	機会(プラス要素) 税金等の電子決済の導入等により会計課窓口での公金収納業務の負担軽減が図られると考える。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	本間 廣勝	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和5年6月14日			

基 本 事 項	事務事業名	決算事務事業			所管部署名	会計課出納審査係						
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	本間 廣勝		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			根拠法令等	地方自治法、吉川市会計規則					
		まちづくりの目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度					
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無						
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計					
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款	項	総務費		総務管理費		
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	吉川市一般会計・特別会計歳入歳出決算書(令和3年度)			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	目	細目	会計管理費		会計事務事業	
		意 図 (対象にどの ような状態に なしてほしい のか)	公金予算の適正な執行が記録され、正確な決算書として保存される。				5月31日の出納閉鎖後、財務会計システムにより決算書の原稿を作成し、各課に照合・校正を依頼すると合わせて、印刷製本業者を選定・契約を行い、8月上旬に納品され、関係者に配布するとともに、9月議会へ上程し、決算の認定を受ける。					
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		60210201	決算書の作成		
前年度事務事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9021 02 決算事務事業			CP戦略プランとの関連		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 事業費	169	133	180	119	△ 13	171	171	
	② 人件費	454	451	468	225	△ 226	225	225	
		正職員投入人員	0.06人	0.06人	0.06人	0.03人	△ 0.03人	0.03人	0.03人
		正職員人件費	454	451	468	225	△ 226	225	225
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)					0				
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	624	584	648	344	△ 239	396	396		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C	吉川市年間負担経費(A-B)	624	584	648	344	△ 239	396	396	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 令和3年度決算額	千円	79,659,590	86,734,982	84,656,925	84,000,000	84,000,000
	一般会計・特別会計の歳入・歳出決算の計		79,659,590	86,740,075	84,656,925		
活 動 指 標	② 令和3年度決算書冊数	冊	140	120	130	130	130
	決算書印刷製本冊数		140	120	130		
実 績 指 標	① 令和3年度出納閉鎖日翌日から決算書納品までの日数	日	60	63	62	62	62
	令和4年6月1日から令和4年8月1日		60	63	62		
成 果 指 標	① 決算書納品後の修正件数	件	0	0	0	0	0
	決算書納品後に修正のあった件数		1	0	0		



評価年度の主な取組	5月31日の出納閉鎖後に財務会計システムにより一般会計、特別会計に係る決算データの集計、決算書原稿の作成。各課における決算内容の確認作業を行うとともに、決算書の印刷製本契約を締結するための業者選定及び見積もり合わせを実施。契約の締結を行う。 地方自治法第233条に基づき、令和3年度の一般会計及び特別会計の決算認定を受けた。
-----------	---

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	地方自治法の規定により、決算の調製が義務付けられており、対象・手段、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 令和3年度出納閉鎖日翌日から決算書納品までの日数 (減少目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	達成された	① 決算書納品後の修正件数 (ゼロ値目標指標)	未達成	達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	決算書原稿の内容確認を各課に徹底することで、成果品修正作業のリスク軽減が図れる。				
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		59.93% 減少している 5,552.18 円	令和3年度出納閉鎖日翌日から決算書納品までの日数 活動指標を単位として換算 単位: 円/日	171.52% 増加している 10,397.15 円	89.10% 減少している 9,264.03 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	成果品修正作業のリスクを回避することで、人件費等のコスト削減が図れる。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	財務会計システムの導入により、決算書の原稿作成に要する時間を短縮することができた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	本間 廣勝	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)		<input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化	
	説明				
	二次評価日	令和5年6月14日			

基 本 事 項	事務事業名	物品管理事務事業			所管部署名	会計課出納審査係					
	事業期間	特定不可	～	未設定	事業年齢	-	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	本間 廣勝	
	基本 の本 計 画 関 係	関連付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			根拠法令等					
		まちづくりの目標				事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
		施策				事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無					
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計				
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款	項	総務費	総務管理費		
	事 目 的	対象 (誰を、何を)	直接の対象:事務用品 最終的な対象者:職員			手 段 (どのよう な 事業を行うのか)	目 細 目	執行方法			
		対象年齢	-	-	事務用品の在庫状況を確認し、在庫が増えないよう必要に応じて事務用品の購入をする。 各課等からの支給申請に基づき、事務用品を支給する。						
意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		事務用品を適正に管理し、円滑に支給される。									
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 60210301 事務用品支給			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9021 03 物品管理事務事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	1,841	1,770	1,794	1,791	21	1,571	1,571
	② 人件費	227	376	390	450	74	450	450
	正職員投入人員	0.03人	0.05人	0.05人	0.06人	0.01人	0.06人	0.06人
	正職員人件費	227	376	390	450	74	450	450
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	2,068	2,146	2,184	2,241	95	2,021	2,021	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	2,068	2,146	2,184	2,241	95	2,021	2,021	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 全職員数	人	415	419	424	429	430
	職員の人数		417	419	424		
②	事務用品の項目	項目	57	57	57	57	57
	管理している事務用品の項目数		57	57	57		
活 動 指 標	① 事務用品購入件数	件	35	30	30	30	30
	事務用品を購入した件数		32	31	32		
成 果 指 標	① 事務用品支給件数	件	390	400	350	350	350
	事務用品を各課に支給した件数		357	339	318		

評価年度の主な取組	職員等が使用する主な事務用品を購入し、各課からの支給申請に基づき支給した。 【主な購入事務用品】ファイリング用個別フォルダ、フォルダラベル、付せん、蛍光ペンなど。		
-----------	--	--	--

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市の業務を遂行するために必要な事務用品を管理する業務であり、妥当である。 適切な在庫管理を行うことで、事務用品の購入を円滑に行うことができる。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市の内部事務である。				
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	93.33%, ★★★★ 概ね達成された	① 事務用品購入件数 (減少目標指標)	108.57%, ★★★★★ 達成された	96.67%, ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	109.14%, ★★★★★ 達成された	① 事務用品支給件数 (減少目標指標)	108.46%, ★★★★★ 達成された	115.25%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	在庫管理を徹底し、無駄の無い事務用品使用に努めることで成果向上の余地はある。				
上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
価効性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		101.15% 若干増加している 70,026.16 円	事務用品購入件数 活動指標を単位として換算 単位: 円/件 64,634.00 円	122.46% 増加している 69,229.90 円	107.11% 若干増加している		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	適正且つ安価な事務用品の購入、無駄の無い事務用品の使用を徹底することで、コスト削減の余地はある。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	広告入りの窓口用封筒を作成することで、事務用封筒使用の抑制を図った。 文書保存用の個別フォルダを文書保存に支障のない範囲で低価格のものに変更した。 支給方法をシステム化することで事務効率向上を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	なし	なし
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	本間 廣勝	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和5年6月14日			



Table with 10 main rows and multiple columns for project details. Includes sections for '基', '本', '事', '項' and '事業事業名', '所管部署名', '会計課出納審査係', etc.

Table with 10 main rows and multiple columns for financial data. Includes sections for '区分', '区 分', '令和2年度', '令和3年度', '令和4年度', '令和5年度', '令和6年度'.

Table with 10 main rows and multiple columns for performance indicators. Includes sections for '目', '区分', '指標名 (上段)', '単位', '令和2年度', '令和3年度', '令和4年度', '令和5年度', '令和6年度'.

評価年度の主な取組	埼玉県収入証紙、切手、ハガキ、印紙等の販売所として登録し、収入証紙は埼玉県から、切手、ハガキ、印紙については郵便局からそれぞれ仕入れを行い、会計課窓口にて販売を実施。
-----------	---

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	埼玉県手数料・国の手数料の支払に用いる証紙や印紙及び切手やはがきの販売所を市が行うことは、市民の利便性向上につながるものであり、すべて妥当性がある。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	110.59% ★★★★★ 達成された	② 収入印紙、郵便切手類販売金額 (増加目標指標)	18.25% ★ 達成度がかなり低い	29.33% ★ 達成度がかなり低い	
	成果指標	114.00% ★★★★★ 達成された	② 収入印紙、郵便切手類購入額に対する販売額の割合 (増加目標指標)	90.80% ★★★★★ 概ね達成された	82.16% ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	積極的な販売ではなく、要望に応じての販売であることから、成果向上の概念はない。他機関から委任を受けての販売であることから、市施策への貢献は無いと考える。				
	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たり一ータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		39.68% 減少している 0.01 円	収入印紙、郵便切手類販売金額 活動指標を単位として換算 単位：円/円	54.73% 減少している 0.02 円	107.03% 若干増加している 0.02 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	販売価額及び販売手数料等はすべて決められているものであり、コスト改善の余地はない。受益者(購入者)は決められた金額で購入しており、受益者負担は最適であることから適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成25年10月からの市民課窓口でのパスポート発行業務に併せ購入基金を設置し、購入販売が弾力的に運用することが可能となり、証紙等の在庫不足という事態を回避できるようになった。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	なし	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	本間 廣勝	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和5年6月14日			

基 本 事 項	事務事業名	水道経営管理事業			所管部署名	水道課庶務係				
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	66年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司		
	基本 との 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	地方公営企業法、吉川市水道事業会計規程			
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		施策の展開	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	市 まち ・ ひと ・ し ご と 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計		
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	水道事業費用		営業費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)			執行方法	直営				
	目 的	対象(誰を、何を)	水道事業運営全般			手 段 ( ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算編成方針の決定、予算要求、ヒアリング、原案の作成、予算案の議会提案、議決、公表</li> <li>・予算の執行管理</li> <li>・決算の調製、報告、公表</li> <li>・指標を用いた経営分析</li> </ul>			
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)		最小の経費で最大の効果が得られるよう、計画的かつ効率的な財政運営ができる。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 70310101 会計処理					
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9031 01 水道経営管理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

区分	区 分	令和2年度 決算(千円)	令和3年度 決算(千円)	令和4年度			令和5年度 当初(千円)	令和6年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A ト ー タ ル コ ス ト	① 事業費	14,825	18,454	18,442	17,984	△ 470	19,026	19,026
	② 人件費	11,210	14,652	15,198	19,265	4,612	19,265	19,265
	正職員投入人員	1.48人	1.95人	1.95人	2.57人	0.62人	2.57人	2.57人
	正職員人件費	11,210	14,652	15,198	19,265	4,612	19,265	19,265
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		26,035	33,106	33,640	37,249	4,143	38,291	38,291
B 特 定 財 源	⑥ 国庫支出金						0	
	国補助率							
	⑦ 県支出金						0	
	県補助率							
	⑧ 市債						0	
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	26,035	33,106	33,640	37,249	4,143	38,291	38,291	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	△ 0	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 計画(見込)値	令和6年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 予算額	千円	1,451,701	1,463,934	1,467,131	1,467,131	1,467,131
	総収益		1,492,473	1,474,418	1,459,066		
②	予算額	千円	1,412,017	1,460,041	1,461,219	1,461,219	1,461,219
	総費用		1,390,893	1,413,170	1,436,797		
活 動 指 標	① 純利益	千円	39,684	3,893	5,912	5,912	5,912
	経常利益-(特別損失-特別利益)		101,580	61,247	22,268		
成 果 指 標	① 総収支比率	%	102.8	100.3	100.4	100.4	100.4
	総収益÷総費用×100		107.3	104.3	101.6		
②							

評価年度 の主な 取組	本年度は、前年度に比べて、給水戸数が増加したものの、給水人口、年間総配水量及び有収水量は減少となった。それに伴い、経営の基盤となる給水収益も減少となっている。 収益的収支において、総収入は1,459,066千円となり、前年度と比べ、15,352千円の減、総費用は1,436,797千円となり、前年度と比べ、23,627千円の増となった。これにより総収支比率は101.55%となり、22,268千円の純利益が発生した。(すべて税抜額)また、給水戸数は31,169戸で196戸の増、給水人口は72,865人で170人の減、一人一日当たり平均給水量は271リットルで4リットルの減となった。有収率は94.29%で前年度と比べ0.13ポイント下落した。
-------------------	---

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】【意図】水道事業は、企業の経済性(最小の費用で最大の効果)とともに、公共の福祉の増進を図ることが義務付けられているため、対象・手段・意図も妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【役割分担】地方公営企業法の規定により、地方公共団体が経営することになっており、役割分担は妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	376.66%, ★★★★★ 達成された	① 純利益 (増加目標指標)	255.97%, ★★★★★ 達成された	1573.26%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	101.14%, ★★★★★ 達成された	① 総収支比率 (増加目標指標)	104.37%, ★★★★★ 達成された	104.05%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】効率的な企業経営を行うため、収支比率の向上を図り総費用の平準化や経営の効率化により成果向上の余地がある。 【上位施策への貢献度】総合振興計画の支柱「暮らしを支える上水道の充実」の根幹である水道事業の安定経営に寄与している。				
上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		309.46% 増加している 1,672.75 円	純利益 活動指標を単位として換算 単位：円/千円	80.30% 減少している 256.30 円	210.90% 増加している 540.54 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】委託業務内容のさらなる精査や、施設等の維持更新を計画的に進めることで、コスト改善の余地がある。 【受益者負担適正化の余地】水道料金は水道事業を維持・運営するための必要最低限の費用を賄うために総括原価方式で算定しているため、受益者負担適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	節水型機器の普及などによる水需要の伸び悩みによる水道事業の財政状況の改善を図るため、平成19年度に水道事業経営健全化計画を策定した。また、令和元年度には、水道事業の中長期的な事業計画である吉川市水道ビジョン(経営戦略)を策定し、ビジョンに基づいた施策を実施している。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新</td> <td>給水戸数、給水人口の増加</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新	給水戸数、給水人口の増加
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新	給水戸数、給水人口の増加					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	施設の老朽化による更新需要の見通し、将来人口減少による財政状況への影響などを踏まえ、限られた財源の中で効率的な業務執行により、持続可能な水道事業を実現するための「水道ビジョン(経営戦略)」に基づいた中長期的に健全な事業運営を図る。			
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和5年5月31日			

基 本 事 項	事務事業名	庁舎等維持管理事業			所管部署名	水道課庶務係			
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	66年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	基本 との 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	消防法、浄化槽法、道路運送車両法		
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施 計画 の 位置 付け	施策の展開	(1)水道施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計	
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)				款 項	水道事業費用	営業費用
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	会野谷浄水場管理棟(庁舎)及び水道課所管の公用車			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	総係費	
		対象年齢	-	-				執行方法	一部委託 清掃、消防、浄化槽、ごみ処理委託
意図 (対象にどのような状態に なしてほしいのか)		庁舎や公用車の維持管理を適切に行い、良好な状態に保つこと で安全に利用することができる。			①庁舎管理委託業務(定期清掃、ごみ処理) ②施設保守管理業務委託(消防設備、浄化槽、空調機他) ③公用車の維持管理(法定点検含む点検整備、保険の加入)				
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 70310201 庁舎管理				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9031 02 庁舎等維持管理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	9,228	8,101	9,156	8,332	231	9,497	9,497
	② 人件費				75	75	75	75
	正職員投入人員				0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
	正職員人件費				75	75	75	75
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	9,228	8,101	9,156	8,407	306	9,572	9,572	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
特定 財源	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	9,228	8,101	9,156	8,407	306	9,572	9,572
	受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%
C	吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 庁舎面積	㎡	985	985	985	985	985
	庁舎(1階、2階、別棟会議室)の延床面積		985	985	985		
②	公用車の台数	台	6	6	6	6	6
	公用車の保有台数		6	6	6		
活 動 指 標	① 施設管理委託件数	件	6	5	6	6	6
	施設管理業務の委託件数		6	6	6		
②	庁舎修繕件数	件	1	1	1	1	1
	庁舎施設の修繕件数		4	2	0		
③	公用車整備点検件数	件	6	6	6	6	6
	車検、12月点検件数		6	6	6		
成 果 指 標	① 事故発生件数	件	0	0	0	0	0
	庁舎、公用車事故発生件数		1	0	0		
②							



評価年度の主な取組	<p>・水道課事務棟(中央監視室)は、平成23年に新築後11年が経過し、軽微ながらも修繕件数が増加傾向にある。保守点検業務を実施し、良好な施設の維持管理に努めている。また、既に実施していた保守点検業務についても、業務内容の見直しや個別発注していた業務を一括発注に切り替えるなどして、効率的かつ効果的に事業を行っている。</p> <p>・保守点検業務                  ①施設清掃業務委託(月・水・金の週3回、事務棟内の清掃)                  ②定期清掃業務委託(窓ガラス、カーペット、床ワックス、自動ドア点検を一本化)                  ③事業系一般廃棄物の収集処理業務委託                  ④浄化槽保守点検業務委託                  ⑤消防設備保守点検業務委託                  ⑥空調機保守点検及びフロン漏洩点検業務委託</p> <p>・公用車について、車検と12か月点検を1年毎に行うことで、安全に使用できるようにしている。車両の不具合については、可能な限り早急に対応することで事故等を未然に防ぎ、職員の安全確保に努めている。</p>
-----------	--

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】対象及び手段については、目的にあった実績があり妥当である。 【意図】最小の経費で最大の効果という目的に照らし、施設を安全にかつ適正な維持管理に努めるための業務委託であり、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【役割分担】市の事務として実施することは妥当である。また、その事務の一部を委託している。				
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	200.00% ★★★★★ 達成された	② 庁舎修繕件数 (減少目標指標)	-200.00% ★ 達成度がかなり低い	0% ★ 達成度がかなり低い	
	成果指標	達成された	① 事故発生件数 (ゼロ値目標指標)	未達成	達成された		
	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】適切に業務を執行している。 【上位施策への貢献度】水道施設(庁舎、中央監視室)の維持管理により、良質な水道行政サービスが提供できる。				
価効性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		評価不可	庁舎修繕件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	77.62% 減少している 2,307,060.50 円	175.58% 増加している 4,050,661.50 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】備消耗品費のさらなる削減と昼休み中の消灯など経費削減に努める。 【受益者負担適正化の余地】庁舎維持管理事業は、受益者負担の余地がない、				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成23年度に水道課事務棟(中央監視室)が新築されたことで、来庁者及び職員の安全が確保されており、災害時等における水道の安定供給の拠点としても十分に貢献できる。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新	機会(プラス要素) 給水戸数、給水人口の増加
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和5年5月31日				



基 本 事 項	事務事業名	広報広聴事業			所管部署名	水道課庶務係			
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	66年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	基本 との 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法第24条の2		
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	実施 計画 の 位置 付け	施策の展開	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計	
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)				目 細目	水道事業費用	営業費用
	事 目 的	対象 (誰を、何を)	水道使用者			手 段 (どの よう な 事 業 を 行 う の か)	①水道週間行事の実施(6月1日~6月7日) ②水道広報紙「よしかわの水道」発行(8月、12月) ③水道啓発イベントの開催(9月) ④ホームページの更新(随時)		
		対象年齢	00	99	全年齢				
意図 (対象にどのような状態 になってほしいのか)		水道事業の目的、事業の内容、その他水道に関する情報を得られるようになり、水道事業への理解が深まる。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 広報よしかわ等発行事業(政策室)			主要業務プロセス	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9031 03 広報広聴事業			CP戦略プランとの関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 戦略的CP活動				

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	469	318	801	307	△ 11	546	718
	② 人件費	303	601	624	225	△ 376	225	225
	正職員投入人員	0.04人	0.08人	0.08人	0.03人	△ 0.05人	0.03人	0.03人
	正職員人件費	303	601	624	225	△ 376	225	225
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	772	919	1,424	532	△ 387	771	943	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	772	919	1,424	532	△ 387	771	943	
受益者負担率(⑩÷⑤)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		100.00%	100.00%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)	0	0	0	0	0	0	0	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
標 設	① 世帯数	世帯	31,416	31,252	31,655	31,919	32,151
			市内の世帯数	31,147	31,403		
	② 全市民	人	74,771	73,514	73,756	74,372	74,912
			全市民	73,217	73,043		
定 動 指 標	① 水道だより発行回数	回	2	2	2	2	2
			水道だより発行回数	2	2		
	② ホームページ確認数	回	12	12	12	12	12
			ホームページを確認した数(毎月1日を確認日としている)	12	12		
実 績 指 標	① インターネットアクセス件数	件	52,000	73,800	71,500	71,500	71,500
			インターネットアクセス件数	73,770	69,047		
②							

評価年度 の 主 な 取 組	・広報紙「よしかわの水道」発行状況 第34号 令和4年8月 26,500部 第35号 令和4年12月 26,500部
	・啓発事業(水道イベント)の実施 市民まつりにおいて市水道事業の啓発イベントを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民まつりが中止となったため、実施できなかった。

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】広報広聴事業としての対象・手段は妥当である。 【意図】情報提供という意図は、使用者(お客様)に対するサービス向上の手段として有効であり、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【役割分担】広報広聴は、市として行うものであり、妥当である。				
業 効 性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 水道だより発行回数 (増加目標指標)	100.00%, ★★★★★ 達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された	
	成果指標	89.41%, ★★★★ 概ね達成された	① インターネットアクセス件数 (増加目標指標)	141.87%, ★★★★★ 達成された	93.56%, ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】ホームページ情報の新鮮度を図るなど、成果向上の余地はある。 【上位施策への貢献度】上位施策が存在しない。				
上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						
価 効 率 性	単位当たり コスト 変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		57.88% 減少している 265,989.00 円	水道だより発行回数 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	37.55% 減少している 386,121.00 円	119.02% 増加している 459,570.50 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】現行のコストは適正である。 【受益者負担適正化の余地】情報提供は、受益者負担の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	水道事業について、市民の方に情報提供するために「水道だより」を平成18年度から年2回発行しているが、可能な限り最新の情報を提供するためにホームページの更新に努めている。また、市公式サイトへチャットボットを導入することにより、よくある市民からの問い合わせについては、365日24時間対応することができるようになった。水道事業紹介動画を職員が作成することで、費用を掛けずに情報提供の手段を増やすことができた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するように改善に努める。	

事業 の 一 次 評 価 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和5年5月31日			

Table with project details including '水道料金徴収事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '目的', '類似事業', and '前年度事務事業'.

Table with financial data for '投入コスト' and '特定財源', showing '令和2年度決算', '令和3年度決算', and '令和4年度' (予算, 決算, 増減額) for various categories like '事業費', '人件費', '国庫支出金', etc.

Table with performance indicators ('目標設定') and results ('実績'), listing '水道料金調定額', '給水世帯数', '金融機関口座振替依頼件数割合', '水道料金調定件数', '口座振替勧奨通知件数', and '現年度水道料金収納率'.

評価年度の主な取組	●給水停止 停止予告通知発送 1,606 件 停止通知 1,722 件 停止執行 194 件
	●訪問徴収 1,806調定 10,255,978円 (うち夜間徴収 34日、215調定 1,170,760円)

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【対象・手段】【意図】水道事業は地方公営企業法により、地方公共団体が行う事業であり、対象・手段、意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	【役割分担】水道事業は地方公営企業法により、地方公共団体が行う事業であり、役割分担は妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	99.58%, ★★★★★ 概ね達成された	② 水道料金調定件数 (増加目標指標)	100.35%, ★★★★★ 達成された	99.98%, ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	99.91%, ★★★★★ 概ね達成された	① 現年度水道料金収納率 (増加目標指標)	99.33%, ★★★★★ 概ね達成された	99.40%, ★★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【成果向上の余地】【上位施策への貢献度】受益者負担の原則に基づき水道料金を徴収するものであり、自主納付の推進を図りながら収納率の向上に努める。				
業効性	上位施策への貢献度	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					
	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		98.18% 若干減少している 1,080.56 円	水道料金調定件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	102.40% 若干増加している 468.60 円	234.86% 増加している 1,100.58 円		
コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	【コスト改善の余地】【受益者負担適正化の余地】納期限内納付の増加により、督促状や口座振替の費用削減の余地がある。					
業効性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	閉開栓業務、検針業務、月例処理、納付書作成・発送、料金徴収業務等を以前から民間事業者にて委託しているが、平成19年度から未納者整理、滞納者給水停止、誓約者徴収業務などの一連の水道料金徴収業務についても委託した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 節水意識の高揚やライフスタイルの変化などの理由による水需要の低迷、老朽化した施設の更新	機会(プラス要素) 給水戸数、給水人口の増加
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	水道ビジョンに基づき事業を実施し、設定された数値目標を達成するよう改善に努める。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和5年5月31日			

基 本 事 項	事務事業名	給配水維持管理事業			所管部署名	水道施設設備				
	事業期間	昭和32年度 ~ 未設定	事業年齢	66年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司		
	基本 との 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法			
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	実施 計画 の 位置 付け	施策の展開	(1)水道施設の整備			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計		
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)				目 細目	資本的支出	建設改良費	
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接対象)老朽化した水道管 (最終的な対象)水道水を利用する市民			手 段 (どのよう な事業を 行うのか)	執行方法	一部委託 設計、工事		
		対象年齢	-	-				老朽化した水道管の布設替えを実施する。 漏水修繕工事を迅速に実施できる体制を整える。		
意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		災害に強い水道が構築される。 安心安全な水道水が安定的に供給される。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 60320301 配水管布設工事					
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9032 01 給配水維持管理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無					

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	406,569	332,572	456,441	434,027	101,455	487,900	449,090
	② 人件費	36,658	47,413	49,180	41,903	△ 5,511	47,300	47,300
	正職員投入人員	4.84人	6.31人	6.31人	5.59人	△ 0.72人	6.31人	6.31人
	正職員人件費	36,658	47,413	49,180	41,903	△ 5,511	47,300	47,300
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	443,227	379,986	505,621	475,930	95,944	535,200	496,390	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	23,980	64,799	32,000	12,053	△ 52,746	32,000	32,000	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	382,589	46,513	46,500	86,130	39,617	64,350	46,500	
受益者負担率(⑩÷⑤)	86.32%	12.24%	9.20%	18.10%		12.02%	9.37%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)	36,658	268,674	427,121	377,747	109,073	438,850	417,890	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 配水管延長	m	342,457	342,657	341,529	343,029	344,029
	全ての配水管の延長		339,888	340,701	340,995		
②	給水人口	人	73,300	73,600	73,748	74,364	74,904
	水道水を利用する市民		73,206	73,032	72,865		
活 動 指 標	① 石綿管延長	m	25,564	24,064	23,099	21,469	20,282
	配水管のうち石綿管の延長		26,432	25,154	24,250		
②	耐震管延長	m	140,863	141,981	144,671	147,801	149,988
	配水管のうち耐震管の延長		139,150	142,616	144,559		
③	漏水修繕適正完了率	%	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	修繕完了予定日までに修繕した件数÷年間漏水発生件数		76.0	68.0	88.0		
成 果 指 標	① 石綿管割合	%	7.6	7.0	7.0	6.0	6.0
	石綿管延長÷配水管延長		7.8	7.0	7.0		
②	耐震管割合	%	41.2	41.5	42.0	43.0	44.0
	耐震管延長÷配水管延長		41.7	42.0	42.0		



1.水道管路の耐震性を向上させるため、石綿管を耐震性ダクタイル鋳鉄管に布設替し、給水管もステンレス管を使用するなど耐震化に努めた。

R4年度末 ダクタイル鋳鉄管布設状況

継手別	S型	KF型	S II型	NS型	GX型	HPPE型
延長	2,097	426	3,878	128,583	7,053	2,522

R4年度末 石綿管布設状況 単位:m

管種	ACP	SACP	計
延長	22,400	1,850	24,250

注1: 管路延長はデータの電子化移行による精査により従前数値と整合しません  
注2: ACPとは通常石綿管、SACPとは鋼板巻込み石綿管

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民生活のライフラインである配水管の耐震化を進めることにより、災害時において市民へ安定した給水を行うことができることから、手段及び意図は妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		活動指標	95.02%, ★★★★★ 概ね達成された	① 石綿管延長 (減少目標指標)	96.60%, ★★★★★ 概ね達成された	95.47%, ★★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	100.00%, ★★★★★ 達成された	① 石綿管割合 (減少目標指標)	97.37%, ★★★★★ 概ね達成された	100.00%, ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・老朽管の布設替えを進めることにより、ライフラインの安全性が向上することから、成果向上の余地がある。 ・安心、安全な水道水を安定的に供給することができることから、上位施策への貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度	令和3年度		
		129.92% 増加している 19,625.97 円	石綿管延長 活動指標を単位として換算 単位:円/m	169.87% 増加している 16,768.59 円	90.09% 若干減少している 15,106.37 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・老朽管の布設替えに使用する資材は耐震管を使用する等限定されており、大幅なコスト改善の余地は少ないが、節水機器などの普及による使用水量も減少しているため、布設替を行う配水管口径のダウンサイジングの検討を進める。 ・加入者負担金や使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

これまでの改革・改善内容

- ・資材の選定に際しては、流通状況や安定供給性を踏まえながらコストを比較し、できる限り一般的なものを採用し、コスト削減を図っている。
- ・道路管理者と情報共有を行い工事調整を図り、合理的かつ効果的な施工をすることにより、コストの削減を図っている。

リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
首都直下型地震などの発生も想定されており、老朽化した施設の更新、災害対策への取り組みが必要となっております。	水道施設の計画的な更新を図るため、中期計画(5年~10年)を策定して事業を進めて、安心、安全な水道水を安定的に供給する。

行財政改革大綱との関連(点検・確認)

吉川市水道ビジョン(経営戦略)は、将来にわたって持続可能な水道事業を実現するため、これまでの取り組みに対する評価、課題の整理を行うとともに、厚生労働省が新水道ビジョンで示した、安全、強靱、持続の3つの観点から、課題に対応していくため策定した。

事業(一次)の方向性

今後の方針  現状のまま継続  改善のうえで継続  他の事業に統合  廃止・休止  終了・完了

「改善のうえで継続」の場合の展開方針

- 拡大
- 手段を改善(実施主体・手段の改善)
- 縮小
- 効率化

「今後の方針」の説明(計画内容等)

老朽管の布設替えには、多額の費用が見込まれ財政的な負担も大きいことから、施設更新計画を基に管路のダウンサイジングや適切な管種選定を行うことで、より経済的に事業を進めていく。

一次評価日 令和5年5月31日 一次評価責任者 秋谷 裕司

二次評価

今後の方針  現状のまま継続  改善のうえで継続  他の事業に統合  廃止・休止  終了・完了

「改善のうえで継続」の場合の展開方針

- 拡大
- 手段を改善(実施主体・手段の改善)
- 縮小
- 効率化

説明

二次評価日 令和5年5月31日



基 本 事 項	事務事業名	浄配水場施設管理事業			所管部署名	水道課施設係					
	事業期間	昭和41年度	～	未設定	事業年齢	57年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	基本 との 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法				
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
		施策の展開	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	市 まち ・ ひと ・ し ごと 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計			
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	資本的支出		建設改良費	
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)			執行方法	一部委託 浄配水場施設の操作					
	目 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)浄配水場の管理 (最終的な対象)水道水を利用する市民			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	浄配水場を適切に維持管理するため必要な修繕及び施設更新を行う				
意 図 (対象にどのような状態になってほしいのか)		安心・安全な水道水を安定的に供給する									
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 60320201 配水ポンプ運転						
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9032 02 浄配水場施設管理事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 事業費	203,953	395,621	314,676	115,456	△ 280,165	144,462	299,092	
	② 人件費	20,829	18,109	18,784	14,242	△ 3,866	18,065	18,065	
		正職員投入人員	2.75人	2.41人	2.41人	1.90人	△ 0.51人	2.41人	2.41人
		正職員人件費	20,829	18,109	18,784	14,242	△ 3,866	18,065	18,065
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)					0				
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	224,782	413,730	333,460	129,698	△ 284,031	162,527	317,157		
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	114,840	81,730	77,968	86,130	4,400	64,350	46,500		
	受益者負担率(⑩÷⑤)	51.09%	19.75%	23.38%	66.41%		39.59%	14.66%	
C 吉川市年間負担経費(A-B)	109,942	332,000	255,492	43,568	△ 288,431	98,177	270,657		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 配水量	m <sup>3</sup>	7,840,700	7,841,000	7,842,000	7,735,000	7,691,000
	水道水の総量		7,927,736	7,752,077	7,630,488		
②	給水人口	人	73,300	73,600	73,748	74,364	74,904
	水道水を利用する市民		73,206	73,032	72,865		
活 動 指 標	① 電気料	円	20,960,000	25,200,000	25,000,000	27,500,000	27,500,000
	浄配水施設で使用する電気料		23,274,155	23,979,775	28,970,435		
②	有収水量	m <sup>3</sup>	7,134,400	7,292,100	7,293,000	7,349,000	7,307,000
	水道事業収益となる水量		7,362,588	7,319,850	7,194,731		
成 果 指 標	① 有収率	%	91.0	93.0	94.0	95.0	95.0
	有収水量÷配水量		92.9	94.4	94.0		
②							

評価年度の主な取組	1. 施設別配水量の状況		・令和4年度は、美南1丁目、美南2丁目、美南3丁目を中心に水質の維持向上を目的とする配水管路の洗浄作業を実施しました。洗浄水量の減により有収率は昨年より向上しました。 今後も、安心・安全な水道水を安定的に供給するため、必要に応じて配水管路の洗浄作業を実施します。
	施設名	配水量 (m <sup>3</sup> )	
	会野谷浄水場	4,365,496	
	南配水場	3,264,992	
	合計	7,630,488	
	2. 施設別電気使用状況		
	施設名	電力量 (kwh)	
	会野谷浄水場	539,598	
	南配水場	458,009	
	水源井戸	100,180	
合計	1,097,787		
		・当市の水道は、会野谷浄水場と南配水場の二ヶ所から配水しています。 会野谷浄水場は、井戸水と県水を混合した水を供給しています。 南配水場は、県水を供給しています。	

区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・市民生活のライフラインである水道施設(浄配水施設)の維持管理は、市民へ安定した給水を行うことができることから手段及び意図は妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	・水道法2条に水道事業は地方公共団体が必要な施策を講じなければならないと規定されており、市が分担することは妥当である。				
業	有効性	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)	令和2年度	令和3年度	
		目標達成度	98.65% ★★★★ 概ね達成された	② 有収水量 (増加目標指標)	103.20% ★★★★★ 達成された	100.38% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 有収率 (増加目標指標)	102.05% ★★★★★ 達成された	101.53% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・安全・安心な水道水を安定的に供給するためには、市内全域の水質状況を確認し、計画的に配水管路の洗浄作業を行う必要がある。また、県水と井戸水のブレンド比を見直し、より安定した水質を確保できる県水の受水量を増やすよう検討をしていきたい。				
価	効率性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・浄配水施設を適切に維持管理することは、安全・安心な水道水を安定的に供給することができることから、上位施策への貢献度は高い。			
		単位当たりコスト変動率	令和4年度 31.89% 減少している 18.03 円	単位当たりトータルコスト換算指標	令和2年度 115.52% 増加している 30.53 円	令和3年度 185.13% 増加している 56.52 円	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・水道施設全般において老朽化が進行し、定期的な修繕と計画的な更新が必要となっており、コスト改善の余地は少ない ・加入者分担金や使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	水需要予測の精度向上に努め、県水受水の割合を増やすことで、より清浄な水質を保持することが出来た。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 首都直下型地震などの発生も想定されており、老朽化した施設の更新、災害対策への取り組みが必要となっております。	機会(プラス要素) 水道施設の計画的な更新を図るため、中期計画(5年~10年)を策定して事業を進めて、安心、安全な水道水を安定的に供給する。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	吉川市水道ビジョン(経営戦略)は、将来にわたって持続可能な水道事業を実現するため、これまでの取り組みに対する評価、課題の整理を行うとともに、厚生労働省が新水道ビジョンで示した、安全、強靱、持続の3つの観点から、課題に対応していくため策定した。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	水道施設更新費用は多額の費用が見込まれることや、故障による断水等のリスクも大きいことから、施設更新計画に基づき、将来の水需要に合わせ施設のダウンサイジングを行うことで、経済的かつ効率的に事業を進めていく。			
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明				
	二次評価日	令和5年5月31日			

基 本 事 項	事務事業名	県水受水事業			所管部署名	水道施設係					
	事業期間	昭和49年度	～	未設定	事業年齢	49年目	事前評価日	令和4年9月1日	事前評価責任者	秋谷 裕司	
	基本 との 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	水道法				
		まちづくりの目標	第4章 快適で持続可能なまちづくり(都市・環境部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	実施 計画 の 位置 付け	施策	第5節 暮らしを支える上水道の充実			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度				
		施策の展開	(2)水の安定供給			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	市 まち ・ ひと ・ し ごと 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	水道事業会計			
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 吉川市水道ビジョン(経営戦略)				執行方法	一部委託 運転操作(受水量調整)			
	事 目 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象)受水施設、計装設備の維持管理 (最終的な対象)水道水を利用する市民			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	主要な水道原水である県水を県企業局浄水場から受水するため、受水施設及び計装設備の維持管理を行うとともに、県水受水圧力の変動や水質不良等の発生時は、速やかに県企業局浄水場と連絡を取り、適切な対応を図る。				
		意 図 (対 象 に ど の よ う な 状 態 に な っ て ほ し い の か)	安心・安全な水道水が安定的に供給される。								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			主な業務プロセス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 60320103 県水受水管理						
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 9032 03 県水受水事業			CP戦略プランとの関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						

区分	区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度	令和6年度
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)
投 入 コ ス ト	① 事業費	521,695	519,914	528,678	518,955	△ 959	535,797	535,797
	② 人件費	151	225	234	1,799	1,574	225	225
	正職員投入人員	0.02人	0.03人	0.03人	0.24人	0.21人	0.03人	0.03人
	正職員人件費	151	225	234	1,799	1,574	225	225
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	521,846	520,139	528,912	520,754	615	536,022	536,022	
資 源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	521,846	520,139	528,912	520,754	615	536,022	536,022	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 給水人口	人	73,300	73,600	73,748	74,364	74,904
	水道水を利用する市民		73,206	73,032	72,865		
②	配水量	m³	7,840,700	7,841,000	7,842,000	7,735,000	7,691,000
	総配水量(水道水の供給量)		7,927,736	7,752,077	7,630,488		
活 動 指 標	① 県水受水量	m³	7,430,100	7,528,800	7,613,100	7,598,000	7,555,000
	県企業局浄水場から受水する量		7,428,280	7,511,360	7,496,170		
②	県水の購入費	千円	504,940	511,643	517,380	516,344	513,422
	井戸水取水量		504,811	510,457	510,451		
③	井戸水取水量	m³	433,000	312,200	209,740	137,000	136,590
	3号井、5号井、6号井、7号井の取水総量		529,813	435,121	165,876		
成 果 指 標	① 井戸水取水比	%	6	4	3	2	2
	井戸水取水量÷配水量		7	6	2		
②							

評価年度の主な取組	1 R4年度 井戸別取水量			・県水の供給元について 会野谷浄水場では主に県企業局庄和浄水場から県水を受水している。 南配水場では主に県企業局新三郷浄水場から県水を受水している。 ・水質改善について 残留塩素濃度の低下がみられる地域の水質改善を図るため、水質不良の水道水を強制的に排水し、これに伴う給水不足を防ぐ観点から、一時的に県水の増量を実施し、市民への安定供給に努めた。 ・井戸の使用状況について 主な取水井戸は、5号、6号、7号の各井戸とし、3号井戸は予備的に使用している。	
	受水場所	受水量(m <sup>3</sup> )	合計水量(m <sup>3</sup> )		
	会野谷浄水場	4,171,330	7,496,170		
	南配水場	3,324,840			
	2 R4年度 井戸別取水量				
	取水井戸名	取水量(m <sup>3</sup> )			
	3号井戸	16,513			
	5号井戸	98,628			
	6号井戸	64,382			
7号井戸	133,558				
逆洗ろ排等水量	△ 147,205				
合計水量(m <sup>3</sup> )	165,876				

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	井戸水の揚水は水環境の保全の観点から地盤沈下の抑制対策として揚水量が制限されており、水道水の全量を井戸水で賄うことは不可能であることから、県水を購入し年間を通じて市民に安全・安心な水道水を安定的に供給することは妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
業効性	目標達成度	種別	令和4年度	評価指標(指標性質)		令和2年度	令和3年度	
		活動指標	101.54%, ★★★★★ 達成された	① 県水受水量 (減少目標指標)	100.02%, ★★★★★ 達成された	100.23%, ★★★★★ 達成された		
	成果指標	126.67%, ★★★★★ 達成された	① 井戸水取水比 (減少目標指標)	78.55%, ★★★ 達成度がやや低い	37.84%, ★★ 達成度が低い			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	県水の購入は、県との協議により長期的な見通しに基づき計画的に受水することとしており、取水施設や浄水施設、送水施設等の修繕若しくは更新における一時的な施設停止等で井戸水が使用不可の場合において、県水の増量給水の措置が可能であり、市民に安全・安心な水道水を安定的に供給することは成果向上の余地があり、上位施策への貢献度は高い。					
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和4年度	単位当たりトータルコスト換算指標		令和2年度	令和3年度		
		100.32% ほぼ変動していない	県水受水量	101.04% 若干増加している	98.57% 若干減少している			
	69.47 円	活動指標を単位として換算 単位: 円/m <sup>3</sup>	70.25 円	69.25 円				
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・県水の購入単価は県が設定しており、コスト改善の余地はない。 ・使用料等は近隣と比較して同等水準であり、適正化の余地は少ない。						
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革改善	これまでの改革・改善内容	従来の水需要と県水受水データよりPCタンク水位の予測ツールを作成し、県水受水率の調整を行い、県水受水率の適正化に努めた。また、計装設備である県水受水流量調節弁の点検を実施し、開度調整を行うなど、県水の安定受水に努めた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	井戸水の水質が県水に比べて末端給水栓の残留塩素が低下しやすい傾向があり、水質の安定的な確保が出来ない。	県水の比率を高めて配水すると、水質の安定的な供給ができる。

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
	一次評価日	令和5年5月31日	一次評価責任者	秋谷 裕司		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
	二次評価日	令和5年5月31日				